

佐渡米通信

こめへる

2026年 4月号

発行日:2026年4月

発行：佐渡農業協同組合 担当：JA 佐渡 営農振興部 販売企画課
jasadoeinoubu20@dune.ocn.ne.jp

佐渡米を購入されている方との交流

お米は作られている産地や品種によって多種多様な袋に入り売られていますが、そのお米がどのような栽培方法で作られているのか、どのような想いや背景のもとで作られているのか見えにくい部分になります。そのため、JA佐渡ではトキと共生した米づくりを取り組んでいることなど、こだわりをお伝えするためにお米を購入されている方との定期的な交流活動を行っています。今回、佐渡米を扱っていただいている生協様で交流活動を行いましたので、その様子についてご紹介します。

★コープみらいフェスタきやっせ物産展in幕張メッセ★

2月15日に、幕張メッセでコープみらいフェスタきやっせ物産展が開催されました。JA佐渡はコープデリ生活協同組合連合会様との「佐渡トキ応援お米プロジェクト」の連携協定にともなうご縁もあり、当日は全農パールライス様のブースでトキと共生した米づくりを紹介しながらお米の販売も行いました。また会場には親子連れの方も多く来場されていたため、トキの折り紙体験を行いながらトキの生態も紹介しました。これからもトキがたくさん増えるようにお米を食べて応援したいという方も多くいらっしゃいました。



JA佐渡職員が佐渡産コシヒカリの試食と取り組みを紹介している様子

JA佐渡 就農研修制度の修了式

～今年度も2名の卒業生が修了し担い手としてデビューします～

JA佐渡では減少する担い手対策として、2021年にJA佐渡就農研修制度を立ち上げました。この制度は3年間農協職員となり、給料や社会保険が完備された環境で、将来の就農にむけて農業の研修を実施する制度です。

これまでに4名の研修生が卒業し、佐渡の新たな担い手として活躍しています。今年度も2月末で2名の卒業生が研修を修了し、担い手となります。2月6日に行われた修了式では、これまでの研修内容や研修での学びや発見、また将来のプランについて発表しました。修了式には卒業生も参加し独立後の近況報告も行い、さらに来年から研修生となるニューフェイスの紹介も行われました。

研修生・卒業生は自分がやりたい事、実際にやってみて理想と現実の違う部分をはじめ、天候や病害虫など、さまざまなことに悩み試行錯誤しながら将来のプランの実現に向けて日々奮闘しています。

JA佐渡では引き続き就農イベント等に参加し、将来の担い手を確保・育成し続けます。

また就農に関するご相談、見学・体験は通年で受け付けておりますので、興味・関心がございましたらお気軽にお問い合わせください。



今回卒業されたお二人(左：鈴木智重さん、右：齋藤瑞樹さん)



温湯消毒 春耕耘 苗づくり 田植え 水管理 中干し 穂肥 稲刈り 秋耕耘 ふゆみずたんぼ

